

第 23 号

群大病院 地域連携だより

病院の理念

大学病院としての使命を全うし、
国民の健康と生活を守る。

基本方針

安全・納得・信頼の医療を提供する。
次代を担う人間性豊かな医療人を育成する。
明日の医療を創造し、国際社会に貢献する。
医療連携を推進し、地域医療再生の拠点となる。

地域医療連携施設交流会を終えて

患者支援センター長 村上 正巳



～ I 部活動報告の様子～

平成 28 年 7 月 14 日に前橋市商工会議所において、第 7 回群馬大学医学部附属病院地域医療連携施設交流会を開催いたしました。例年通り、I 部は活動報告、II 部は懇親会とさせていただきました。

I 部の活動報告には群馬県医師会ならびに郡市医師会から、昨年を上回る 103 名の皆様にご出席いただきました。群馬県医師会長の須藤英仁先生、前橋市医師会長の田中義先生にご挨拶

いただき、田村遵一病院長から腹腔鏡下肝切除術等に係る一連の事故調査について、ならびに群馬県がん診療連携中核病院の指定について説明がありました。続いて、初診時・再診時選定療養費について、ならびに本年 3 月に群馬大学医学部附属病院が臨床検査室の国際規格である ISO15189 の認定を取得したことの報告があり、さらに、がん地域連携パスの運用についての説明がありました。

II 部の懇親会には 89 名の医師会の皆様にご出席いただき、前橋市医師会副会長の岸川一郎先生に乾杯のご発声をいただきました。懇親会にご出席の先生方から、群馬大学医学部附属病院へのご意見やご要望を沢山いただくことができました。お忙しい中ご出席いただきました先生方に、感謝申し上げます。

平成 28 年 7 月 30 日の医療事故調査委員会からの報告書や医療事故の再発防止に向けた提言、8 月 2 日の病院改革委員会からの最終提言や皆様からいただきましたご意見を受け、群馬大学医学部附属病院が安全安心な病院として再生するために取り組んでおります様々な改革を通して、一日も早い信頼回復に努める所存ですので、群馬大学医学部附属病院ならびに患者支援センターへの、皆様の変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



～ II 部懇親会・各都市医師会会長
ご挨拶の様子～

群馬大学医学部附属病院
患者支援センター（連携担当）

〒371-8511 前橋市昭和町三丁目 39 番 15 号

電話 027-220-7733

FAX 027-220-7777

患者支援センターホームページ

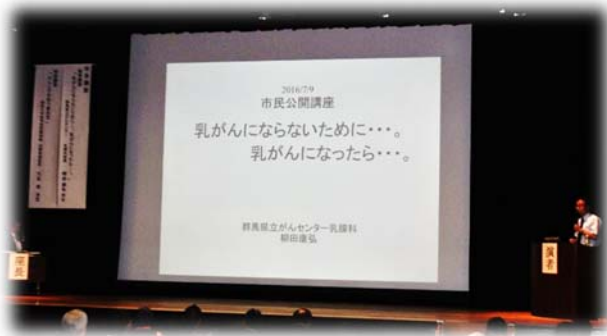
<http://kanjasien.dept.showa.gunma-u.ac.jp/>

開催報告

群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会・市民講座

平成 28 年 7 月 9 日に群馬会館で、群馬県におけるがん対策推進を目的に、毎年開催している市民講座を開催しました。前半は乳がんをテーマに、群馬県立がんセンター乳腺科部長・柳田康弘先生より、乳がんの基礎知識や予防、早期発見の重要性などについて教育講演があり、後半の特別講演では、群馬大学医学部附属病院栄養管理室長・大友崇先生より、がん予防のための食生活の注意点や、抗がん剤治療中の食事の工夫などについて講演がありました。

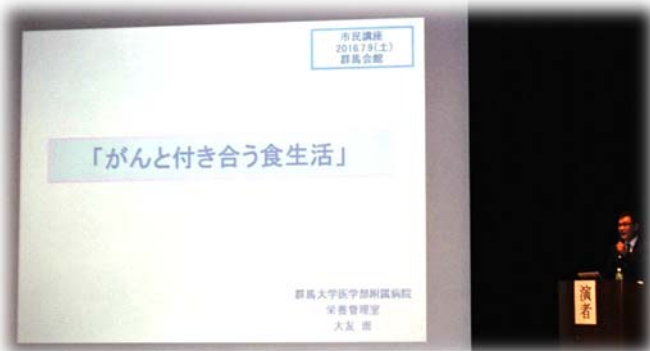
あいにくの雨天にも関わらず、330 名もの方に来場いただき、そのうち約 8 割が女性と多く、乳がんへの関心の高さが窺えました。「乳がんの予防・検診から治療法まで、広く話が聞けて勉強になった」「がん予防として太りすぎや、塩分の摂り過ぎなど注意すべき食習慣がよくわかった」「有意義だった。来年も参加したい」などといったご意見を多くいただきました。講演後には患者さんやご家族、医療関係者等で情報交換を行う交流茶話会も開催しましたが、こちらも会場が満員になるほど多くの方にご参加いただき、大盛況のうちに終了することができました。



群馬県立がんセンター乳腺科部長
柳田 康弘先生の教育講演



交流茶話会の様子



当院栄養管理室長
大友 崇先生の特別講演



リレー・フォー・ライフジャパンぐんま 群大病院プレイベント



昨年に引き続き、病院の憩いの場であるコーヒーショップにて、リレー・フォー・ライフのプレイベントを開催しました。このプレイベントは、一人でも多くの方にリレー・フォー・ライフを知っていただくこと、「当日参加できない患者さんたちを励ましたい」という、当院に通院する患者さんからの熱い思いから開催されています。今年のテーマは「希望はきっとあなたの手の中にある」とされ、コンサートの後それぞれの思いを込めた手形を押して、サバイバズフラッグを制作しました。このフラッグは、平成 28 年 10 月 8 日、9 日に開催された本イベントに持参し、ウォークに参加をしました。

また、思いを込めて作成した 120 個のルミナリエを、10 月 5 日から 6 日まで 24 時間、外来通路に展示しました。



～サバイバズフラッグ
作成の様子～



～サバイバズフラッグ～



～院内ルミナリエ
展示の様子～

リレー・フォー・ライフジャパン 2016 ぐんまに参加しました



～24 時間つないだバトン～

リレー・フォー・ライフは、がん征圧を目指し、がん患者や家族、支援者らが夜通し交代で歩き、勇気と希望を分かち合うチャリティイベントです。当院からの参加者は 288 名で、24 時間バトンをつなぎ、完歩しました。

～参加者の感想をご紹介します～

◎心をひとつにできた気がしました。参加させていただき、ありがとうございました。

◎リレー・フォー・ライフがあることは、それだけ多くの人々が、がん患者さんを支えてくれているのだという安心感・心強さにつながるのでは、と感じました。

◎リレー・フォー・ライフをどうして行うのか、看護師として参加する意義を毎年初心に戻って、多くの職員の自主的な参加を続けていくことが必要と感じました。

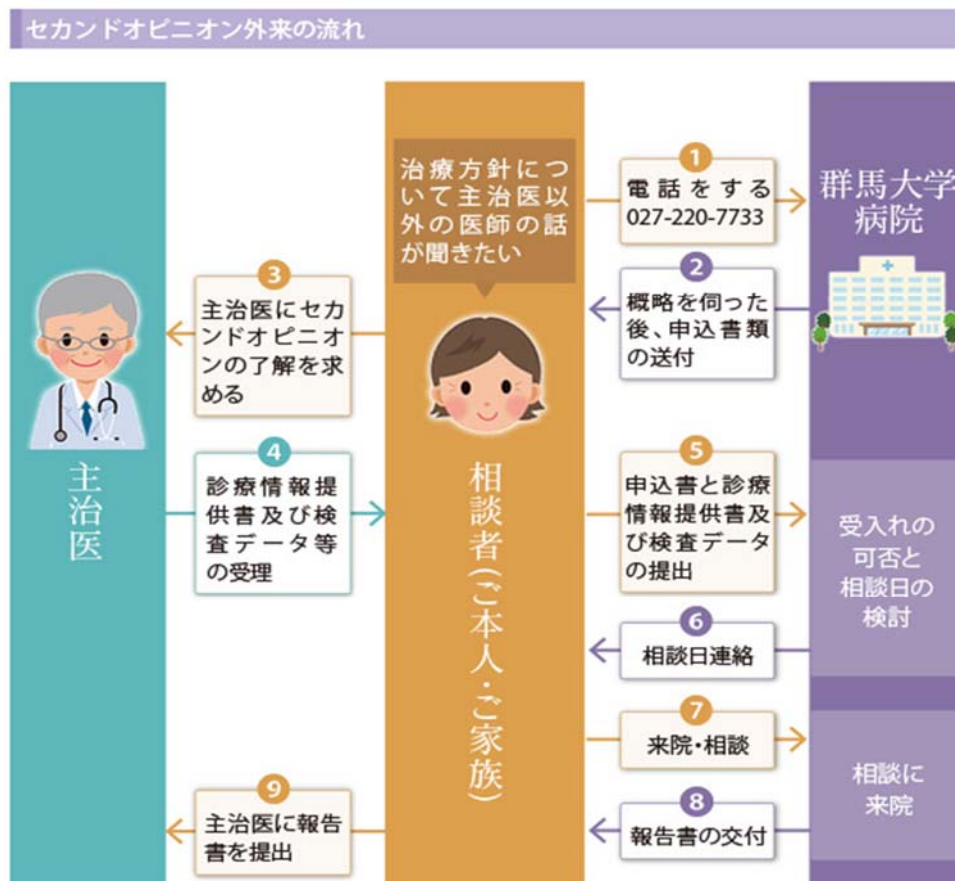


～ルミナリエ～

セカンドオピニオン外来からのお願い

当院のセカンドオピニオン外来は、**完全予約制**です。当日の相談を希望され、予約をせずに来院された場合、当日はお申込み手続きのみとなります。セカンドオピニオンを希望される患者様には、予約をしてから来院されますよう、ご案内をお願いいたします。

詳細はホームページ (<http://kanjasien.dept.showa.gunma-u.ac.jp/secondop.html>) をご覧ください。



がん地域連携パスご協力をお願い

昨年より運用方法を見直し、更なる連携強化を図っております。がん地域連携パスご協力のお願いは担当事務より、各医療機関のパス担当者様へ行っております。また、パス運用開始後の患者様の受診状況についてお問合せすることがありますので、よろしくお願いたします。

がん地域連携パスの運用についてのお問合せは、患者支援センター担当まで、お願いたします。(TEL : 027-220-7858/7733)

